

理工学部 理工学科 電気電子工学系（電気電子工学を兼務）

氏名		職位	最終学歴	学位	所属学会	専門分野	研究テーマ	研究業績
美馬 一博	MIMA Kazuhiro	教授	電気通信大学 電気通信学研究科 機械制御工学専攻 博士後期課程単位取得退学	博士（工学） （電気通信大学）	電気学会／日本ロボット学会／日本機械学会	メカトロニクス／ロボティクス	次世代家事支援システムの開発／小型モビリティの利便性向上に関する研究／教育へのRP技術の展開に関する研究	・特許6528613, 美馬一博, トヨタ自動車, "モータ装置", 2019年 ・特許5617515, 小堀訓成, 中山貴裕, 美馬一博ほか, トヨタ自動車, "距離計測装置、距離計測方法、及びプログラム", 2014年 ・特許4788722, 朝原佳昭, 美馬一博, 藪下英典, トヨタ自動車, "自律移動ロボット、自己位置推定方法、環境地図の生成方法、環境地図の生成装置、及び環境地図のデータ構造", 2011年.
小澤 哲夫	OZAWA Tetsuo	教授	静岡大学大学院 電子科学研究科 博士課程修了	博士（工学） （静岡大学）	応用物理学会／電子情報通信学会／日本結晶成長学会／日本マイクログラフィティ応用学会	半導体工学／電子材料／薄膜技術（IC微細加工技術を含む）／熱流体数値解析／稀薄流体数値解析	III-V族化合物半導体の結晶成長と熱流体シミュレーション／窒素プラズマによるAIN、InNおよびIn XAl1-XNKO混晶の成膜プロセスと数値解析／有機薄膜太陽電池の作成／不具合検知システム付加型太陽光発電／窒化物半導体のMESFET作成プロセス	・動的環境下および微小重力下における半導体材料開発と熱流体数値解析の研究 ・太陽光発電システムの研究・窒素プラズマを用いた窒化物半導体育成技術の開発と成長課程の数値解析
土肥 稔	DOHI Minoru	教授	名古屋大学大学院 理学研究科 後期博士課程修了	博士（理学） （名古屋大学）	電気化学会	物性物理／半導体材料／固体光物性	レドックスフロー電池	・バナジウムレドックスフロー電池の双極板劣化に関する研究 ・パルス放電法を用いた蛍光体薄膜の研究 ・希土類元素を含む蛍光体を用いたレーザー用薄膜の研究
石田 隆弘	ISHIDA Takahiro	教授	豊橋技術科学大学大学院 工学研究科 博士後期課程満期退学 総合エネルギー工学	博士（工学） （豊橋技術科学大学）	電気学会	高電圧工学（電気絶縁材料の絶縁性能評価および耐インバータサージ絶縁材料の開発）	高分子の絶縁劣化現象に関する研究／耐部分放電絶縁材料の開発／耐インバータサージ回転機コイル用絶縁材料の開発	・絶縁材料の劣化現象の研究 ・高電圧を応用した医療機器の開発 ・電界紡糸技術の開発 ・耐部分放電性絶縁材料の開発
服部 知美	HATTORI Satomi	教授	三重大学大学院 工学研究科 博士後期課程修了 電気電子工学専攻	博士（工学） （三重大学）	電気学会／計測自動制御学会／パワーエレクトロニクス研究会	パワーエレクトロニクス	永久磁石型同期モータの振動抑制制御に関する研究／小型ファンモータの消費電力削減に関する研究／モータを用いた疑似サウンド出力に関する研究／高効率モータ開発に関する研究／自律移動ロボットに関する研究	・1999年 電気学会 優秀論文発表賞 ・2002年 計測自動制御学会 論文賞 ・2011年 電気学会 第14回優秀技術活動賞 技術報告賞 ・2017年 第3回永守賞

理工学部 理工学科 電気電子工学系（電気電子工学を兼務）

氏名		職位	最終学歴	学位	所属学会	専門分野	研究テーマ	研究業績
村上 裕二	MURAKAMI Yuji	教授	東京大学 工学系研究科 化学生命工学専攻 博士課程修了	博士（工学） （東京大学）	電気学会／化学とマイクロ・ナノシステム学会／日本化学会／日本機械学会	バイオセンサ／ヒューマンセンシング／マイクロ流体	腸音や胎動の連続計測と健康情報取得の研究／創外固定器用センサ／血糖値センサ開発／プラントモニタ開発／高効率マイクロミキサ開発／マイクロ流体デバイス型分析機開発	・平成30年電気学会全国大会発表「アクリル製平板型腸音センサの製作と評価」 ・第35回「センサ・マイクロマシンと応用システム」シンポジウム発表「新規非接触腸音センサの開発」
本井 幸介	MOTOI Kosuke	教授	金沢大学大学院 自然科学研究科 システム創成科学専攻 博士後期課程修了	博士（工学） （金沢大学）	日本生体医工学会／IEEE Engineering in Medicine & Biology Society	生体医工学／健康科学／福祉工学／リハビリテーション工学／情報通信工学	家庭調度内蔵型ヘルスケアモニターシステムの研究／ウェアラブル姿勢・活動計測システムの研究／先進生体計測融合による医療・福祉・スポーツ支援システムの開発とその臨床応用研究	<論文> ①佐川貢一, 福川亮, 本井幸介, 木立るり子: 二重課題歩行特性と副次課題成績を組み入れたワーキングメモリモデルによる健常高齢者の転倒経験の識別, 人間工学, 第50巻, 第6号, 342-349頁, 2014年. ②谷口早弥香, 本井幸介, 東祐二, 藤元登四郎, 山越 憲一: ウェアラブル姿勢変化・歩行解析システムによる在宅移行期の脳血管障害者の定量的身体活動評価－Life-Space Assessmentによる活動範囲評価との同時比較検討－, 保健医療学雑誌, 第5巻, 第1号, 1-14
本良 瑞樹	MOTOYOSHI Mizuki	教授	東京大学大学院 工学系研究科 後期博士課程修了	博士（工学） （東京大学）	IEEE／電子情報通信学会（同マイクロ波研究会研究専門委員／同マイクロ波・ミリ波フォトンクス研究専門委員／同ELEX編集委員）	アナログ集積回路／無線通信技術／電波伝搬／高周波回路／無線電力伝送	無線通信（集積）回路／無線IoTデバイス・システム／人体領域無線通信デバイス／システム／無線電力伝送／マイクロ波加熱・高周波誘電加熱	・60GHz帯低消費電力発振器/周波数分周器/PLLの研究開発 ・超100GHz帯高速無線通信用トランシーバICの研究開発 ・無線IoT用60GHz帯サブmW極低消費電力ASK送信機の研究開発 ・GHz帯広帯域Digital RF受信機の研究開発
武岡 成人	TAKEOKA Shigeto	教授	早稲田大学大学院 国際情報通信研究科 博士課程修了 メディア情報学	博士（国際情報通信学） （早稲田大学）	音響学会／電子情報通信学会	音響工学	超多チャンネル信号処理を用いた3次元音場の記述と伝送	武岡 成人 "アレイ制御を用いた指向性可変なパラメトリックスピーカ" 信学技報 112(76), 31-36, 2012 Shigeto Takeoka, Yoshio Yamasaki, "Acoustic Projector Using Directivity Controllable Parametric Loudspeaker Array, Proc. ICA 2010, 921, Aug., 2010.
中田 篤史	NAKATA Atsushi	准教授	愛知工業大学大学院 工学研究科 後期博士課程修了 電気・材料工学	博士（工学） （愛知工業大学）	電気学会／パワーエレクトロニクス学会	半導体電力変換	電力・エネルギー制御／半導体電力変換／パワーデバイス応用	・誘導加熱インバータの開発 ・直列形電圧補償装置の開発 ・つくばエクスプレス用PWM整流器の開発

理工学部 理工学科 電気電子工学系（電気電子工学系を兼務）

氏名		職位	最終学歴	学位	所属学会	専門分野	研究テーマ	研究業績
青山 真大	AOYAMA Masahiro	准教授	静岡大学創造科学技術大学院 自然科学系教育部 環境・エネルギーシステム 専攻 博士課程修了	博士（工学） （静岡大学）	IEEE（IAS, IES, PELS）／電気学会	モータ／パワーエレクトロニクス／誘導加熱／電磁アクチュエータ	各種モータハードおよびその制御／機電一体用電力変換器／産業用・家電民生用誘導加熱／電磁力による導電性液体移送／多入力・多出力電力変換器	<p><主な査読付学術論文></p> <p>1. 青山・熊井：「三相空芯回転トランス式キャリア共振結合形受動可変界磁モータ」, 電気学会論文誌D, Vol. 142, No. 9, pp. 666-679 (2022)</p> <p>2. M. Aoyama, T. Kumai, "Adjustable Speed Drive Capability of Self-Excited Wound-Field Synchronous Motor Utilizing Space Harmonics with 500W Class Prototype," IEEE Trans. on Energy Conversion, Vol. 37, No. 2, pp. 855-867 (2022).</p> <p><主な書籍></p> <p>「次世代EV/HEV用モータの高出力化と関連材料の開発」, 分担執筆（第1章第7節）,（株）技術情報協会（2022年1月発行）</p> <p><主な受賞></p> <p>第35回高柳研究奨励賞, 2021年</p> <p>第14回わかしち奨励賞応用研究部門（最優秀賞）, 2020年</p>
Mars Kamel	Mars Kamel	准教授	静岡大学創造科学技術大学院 自然科学系教育部 ナノビジョン工学専攻 博士課程修了	博士（工学） （静岡大学）	IEEE／IEEE Circuits and Systems Society／映像情報メディア学会／電子情報通信学会／Society for Imaging Science and Technology／Journal of Electronic Imaging／IEEE Electron Devices Society	半導体デバイス／CMOSイメージセンサ／集積回路／LSI設計	先端半導体デバイス開発／光学と高性能・高機能イメージセンサを融合したイメージングシステム	<p>・ R. Miyazawa, Y. Shirakawa, K. Mars, K. Yasutomi, K. Kagawa, S. Aoyama, S. Kawahito. "A Time-of-Flight Image Sensor Using 8-Tap P-N Junction Demodulator Pixels". Sensors, vol.23, Issue8, pp. 3987 (1-18), 2023</p> <p>・ S. Kawahito, K. Yasutomi and K. Mars. "Hybrid Time-of-Flight Image Sensors for Middle-Range Outdoor Applications", IEEE OJSSCS, vol. 2, pp. 38-49, 2022.</p> <p>・ 2023 International Image Sensor Workshop国際大会発表「A 648 x 484-Pixel 4-Tap Hybrid Time-of-Flight Image Sensor with 8 and 12 Phase Demodulation for Long-Range Indoor and Outdoor Operations.</p> <p>・ Electronic Imaging 大会発表.</p> <p>・ The 19th Takayanagi Kenjiro Memorial Symposiumで「The Best Presentation Award For Young Researchers」を受賞しました。</p>